

流動性に係る経営の健全性の状況（連結・連結流動性カバレッジ比率に関する事項）

1. 時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項（第7条第2項第1号）

当社の2020年3月期第2四半期の連結流動性カバレッジ比率は、分母のホールセール無担保資金調達に係る資金流出額が減少したこと、および貸付金等の回収に係る資金流入額が増加したことを主因に、2020年3月期第1四半期と比較して8.4%上昇しております。

(2015年金融庁告示第7号、別紙様式第三号)

(単位：百万円、%、件)

項目	当年第2四半期 (2020年3月期 第2四半期)		当年第1四半期 (2020年3月期 第1四半期)		前年第2四半期 (2019年3月期 第2四半期)		前年第1四半期 (2019年3月期 第1四半期)	
適格流動資産 (1)								
1 適格流動資産の合計額	1,747,919		1,782,510		1,841,965		1,874,475	
資金流出額 (2)								
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	6,184,055	511,695	6,129,678	508,703	6,257,921	521,843	6,203,248	518,930
3 うち、安定預金の額	1,525,448	45,763	1,490,380	44,711	1,485,833	44,574	1,449,333	43,480
4 うち、準安定預金の額	4,658,606	465,932	4,639,297	463,992	4,772,088	477,268	4,753,914	475,450
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	2,029,850	907,198	2,106,517	945,292	1,991,675	944,449	2,035,918	950,155
6 うち、適格オペレーショナル預金の額	0	0	0	0	0	0	0	0
7 うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,800,931	678,279	1,886,481	725,256	1,667,189	619,962	1,714,481	628,718
8 うち、負債性有価証券の額	228,918	228,918	220,035	220,035	324,486	324,486	321,437	321,437
9 有担保資金調達等に係る資金流出額		3,378		5,888		1,897		1,830
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	585,121	62,259	595,014	63,250	595,221	65,767	595,740	65,827
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	15,003	15,003	16,226	16,226	19,476	19,476	19,584	19,584
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	0	0	0	0	0	0	0	0
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	570,118	47,255	578,788	47,023	575,744	46,290	576,156	46,243
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	70,380	52,084	77,905	56,273	74,391	64,952	80,481	70,007
15 偶発事象に係る資金流出額	314,032	8,891	315,062	8,803	324,535	9,230	317,852	8,955
16 資金流出合計額	1,545,508		1,588,212		1,608,141		1,615,707	
資金流入額 (3)								
17 有担保資金運用等に係る資金流入額	0	0	0	0	0	0	0	0
18 貸付金等の回収に係る資金流入額	470,148	300,930	436,641	262,175	491,510	319,183	424,769	261,982
19 その他資金流入額	71,860	39,669	68,343	21,468	68,591	39,736	51,938	24,203
20 資金流入合計額	542,008	340,599	504,985	283,644	560,101	358,919	476,708	286,186
連結流動性カバレッジ比率 (4)								
21 算入可能適格流動資産の合計額	1,747,919		1,782,510		1,841,965		1,874,475	
22 純資金流出額	1,204,908		1,304,568		1,249,221		1,329,520	
23 連結流動性カバレッジ比率	145.0		136.6		147.4		140.9	
24 平均値計算用データ数	62		59		62		62	

2. 連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項（第7条第2項第2号）

当社の連結流動性カバレッジ比率は、最低水準である100%を上回って推移しており、問題の無い水準であると評価しております。また、今後も連結流動性カバレッジ比率は100%を上回る水準で推移することを見込んでおります。

3. 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項（第7条第2項第3号）

当社の2020年3月期第2四半期の算入可能適格流動資産は、その90%以上を流動性が高いとされる日本国債、日本銀行預け金及び政府保証債等のレベル1資産で保有しており、2020年3月期第1四半期と比較してその水準に変化はございません。

また、主要な通貨のうち米ドルにおいて、算入可能適格流動資産の合計額が純資金流出額を下回っておりますが、米ドル調達および買い切りのために別途確保している円資産を勘案すると、算入可能適格流動資産の合計額が純資金流出額を上回ることから問題ないと評価しております。

4. その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項（第7条第2項第4号）

- (1) 「適格オペレーショナル預金に係る特例」の適用について
当社は流動性カバレッジ比率告示第28条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」を適用しておりません。
- (2) 「時価変動時所要追加担保額」の算出方法について
当社は時価変動時所要追加担保額の算出方法について、流動性カバレッジ比率告示第36条に定める「簡便法」を適用しております。
- (3) 「その他偶発事象に係る資金流出額」について
流動性カバレッジ比率告示第52条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」については、投資ファンド等からのキャピタル・コール等を計上対象としております。
なお、「その他偶発事象に係る資金流出額」が「資金流出合計額」に占める割合は、2020年3月期第2四半期において1%未満です。
- (4) 「その他契約に基づく資金流出額」について
流動性カバレッジ比率告示第59条に定める「その他契約に基づく資金流出額」については、別段預金で受入れた歳入金の決済等を計上対象としております。
なお、「その他契約に基づく資金流出額」が「資金流出合計額」に占める割合は、2020年3月期第2四半期において3%です。
- (5) 「その他契約に基づく資金流入額」について
流動性カバレッジ比率告示第72条に定める「その他契約に基づく資金流入額」については、流動性リスク管理上の重要性が高いと認められる取引等を計上対象としております。
なお、「その他契約に基づく資金流入額」が「資金流入合計額」に占める割合は、2020年3月期第2四半期において1%です。
- (6) データの使用について
流動性カバレッジ比率の水準への影響が小さいと判断される小規模の連結子法人については、資金流出額及び資金流入額を簡便的な方法で計算することとしております。
なお、連結子法人に係る資金流出額が資金流出合計額に占める割合は、2020年3月期第2四半期において2%です。また、連結子法人に係る資金流入額については該当がございません。

- (7) 日次データを使用しない項目について
流動性カバレッジ比率の水準への影響が小さい以下の項目については日次データに代えて最新の月末データを使用して流動性カバレッジ比率を計算することとしております。

- ・ 海外支店取引に係る項目
- ・ その他重要性に乏しい項目

なお、2020年3月期第2四半期において、日次データを使用しない項目が「適格流動資産の合計額」に占める割合は1%未満、「資金流出合計額」に占める割合は1%未満、「資金流入合計額」に占める割合は1%です。